

『風と光』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に8回程度の発行を予定しています。

【カラー版は、富士・東部教育事務所のHPからご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html>】

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
- (2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

第17回南都留地域教育フォーラム

～子どもたちの教育は地域全体で担う～

南都留地域教育推進連絡協議会(小笠原幸夫会長)は、10月31日(金)に下吉田第二小学校において「平成26年度南都留地域教育フォーラム」を開催しました。



今年度は「『子どもたちの教育は地域全体で担う』～みんなで育む地域連携・地域交流～」をテーマに、全体会及び7つの分科会を実施。当日は地域の子どもの育成に関わる各団体から約320名が参加しました。

全体会の基調提案では、「子どもたちが安心して学べる環境づくりと、人間として調和の取れた成長を遂げるための新たな連携活動の形を共に学び合い、取り組む」ことが提案されました。アトラクション「光っ子コンサート」では山中湖中学校ジャズバンド部「BLUE LAKE BEAT」が、中学生とは思えないパワフルで魅力的なパフォーマンスを披露。会場の方々を魅了しました。

当日は、公私ともにお忙しい中、教育フォーラムにご参加いただきありがとうございます。皆様からいただきましたご意見・ご感想が生かせるよう、今後とも「連携活動」をキーワードとする地域教育推進に生かしていきたいと考えております。今後もお力添えをいただけますようお願いいたします。



教育フォーラムの様子は、下記アドレスからご覧いただけます。
<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/minamituruforumtop.html>

三遊亭小遊三師匠とふれあう会

～ふれあい、楽しみ そして感じ、自分の夢を育もう～



11月16日(日)に大月市民会館において行われた「三遊亭小遊三師匠とふれあう会」(北都留地域教育推進連絡協議会(会長:石井由己雄大月市長)主催)には、地元の

小中学生・保護者の方々34名が参加しました。

短い時間でしたが、小遊三師匠からはテレビがあまり普及していなかった少年時代の思い出や、高校時代に郡内代表として走った東京オリンピック聖火ランナーのエピソードなど、時折、会場の笑いを誘いながらお話しいただきました。また、「テレビ番組の共演者とは本当に仲が悪いんですか」「座布団を10枚ためるとどうなりますか」など、参加者からの質問にも丁寧に答えさせていただきました。

お楽しみ抽選会では、小遊三師匠直筆の色紙や、出演している番組の手ぬぐい・ハンカチが、参加者にプレゼント。会の終わりに、師匠と記念写真を撮り、参加者は皆、楽しいひとときを過ごすことができました。



地域教育「明日の風」教育講演会

～地域の子どもは地域で育てる～



北都留地域教育推進連絡協議会（石井由己雄会長）では、11月25日（火）に第2回理事会および教育講演会を実施しました。教育講演会は、当初7月の定期総会時に実施する予定でしたが、台風8号接近のため急きよ中

止。改めて今回の開催となりました。

講師に山梨大学大学院教授・中村和彦先生をお招きし、「健やかな育みを求めて」と題して、ご講演いただきました。会場となった北都留教育会館には、あいにくの雨にもかかわらず、市村教育委員会、公民館連絡協議会、スポーツ少年団、学校関係者、および一般参加者合わせて約50名の方々が集まりました。中村先生は、「子どもの遊び・運動は食事・睡眠・排泄習慣とともに重要な生活習慣の一つ。しかし、現代の社会生活は人間らしく生きることの問題点が多い。子どもの生活をも変えてしまい、子どもの心と体に様々な危機的状況を生み出した。子ども時代の望ましい遊び・運動習慣は、大人になってからの健康にも影響を及ぼす。健やかな子どもを育てるために統一性・継続性をもって、構造的に取り組んでいくことが、今、日本の大人がすべきことであり、私たち大人の責務である。」とお話しになりました。

明日の風 アスリート実技講習会

～より早く より高く より強く～

明日の風 アスリートクラブ・北都留地域教育推進連絡協議会主催の「第5回 明日の風アスリート実技講習会」が、11月15日（土）大月市営陸上競技場で開催されました。快晴の秋空のもと、小中学生の参加者約30名はそれぞれのレベルに合わせて、各種目に爽やかな汗を流しました。



今回は、特別指導者として地元出身で県内トップアスリートの大学生4名が参加。ボール投げ・走高跳・走幅跳・ハードルのテクニックを、小中学生にわかりやすく丁寧に説明。指導を受けた参加者からは、「記録がどんどん良くなってうれしかった」「もっと練習して、ベストをねらう」「陸上競技が大好きです」との声がたくさん聞きました。

締めくくりは、小学生から大学生全員参加の「混合リレー」。



どのチームも大歓声中、最後までバトンをつなぎ、走りきりました。「第6回アスリート実技講習会」は、年明け2月21日（土）の予定。多くの方の参加をお待ちしています。

一人一花運動 フォトライブラリー展

～花の里 北都留 みんなで、花いっぱい北都留に!!～



「家庭で、学校で、地域で花を育て、花いっぱいの北都留にしましょう。そして次代を担う子どもたちが健やかに成長するように豊かな心を育みましょう。」明日の風では、4月に北都留地区の全ての幼・保・小・中・高・支・大および主な構成団体と、小学3年生、保育園・幼稚園の年長児全員に花の種約1,900袋を配布して、花が咲き、潤いのある環境づくり「一人一花運動」を実施してきました。

配付された花の種は、各地でところを込めて育てられ、今年も多くのきれいな花を咲かせました。その様子を収めた写真展『フォトライブラリー展』が、11月5日（水）から12月19日（金）まで、北都留教育会館で開催されています。

今年も大月保育園・猿橋幼稚園をはじめ、多くの学校から応募があり、教育会館はたくさんのお花と子どもたちの笑顔に満ちあふれています。

さつまいも収穫体験

～平野保育所・山中保育所・子育て支援センター～

10月29日（水）秋晴れの中、山中湖村の平野保育所・山中保育所・子育て支援センターの子どもたち約50名が、さつまいも掘りを楽しみました。この「さつまいも収穫体験」は、村内在住の高村倉司さん所有の畑「農園富士」で、地域の方々のご協力を得ながら毎年実施しています。いも掘りのほかに野菜のお話を聞いたり、たくさんの野菜に触れることもできました。また、当日は山中湖村村長さんから子どもたちにエールを送っていただきました。

広い畑でのさつまいも掘りは、開放感満載。心地よい土の感触に子どもたちも笑顔いっぱいの体験ができました。思いもよらない大きなさつまいもにあちらこちらから歓声があがり、大きさ比べにも力が入り、楽しい時間を過ごすことができました。掘ったさつまいもは、その場で焼きいもにしてみんなでおいしくいただきました。また、各家庭に持ち帰ったり、保育所の給食の食材に使いました。



桂高校「校舎とお別れをする会」

～高校時代にタイムスリップ 思い出の場所はどこですか～

来年3月末までに、取り壊しとなる桂の校舎……。卒業生を中心に、「様々な思い出の残る校舎を取り壊される前に見ておきたい」という要望が多数寄せられた県立桂高等学校(菊池敏彦校長)では、11月23日(日)に「桂高校校舎とお別れをする会」を企画しました。

当日は、校舎内や敷地を一般に開放。参加した方々は、当時を思い出すように教室や特別教室、グラウンドや部室などを自由に見学。写真に納めるなどして、校舎との別れを惜しんでいました。

体育館では吹奏楽部、箏曲部の演奏会や放送部の番組上映会が行われたほか、校歌・応援歌を録音したCDや生徒会誌「かつら」のバックナンバー、文芸部の生徒が制作した部誌なども配布。思い出として、多くの方々が持ち帰っていきました。

また、ハート型のカードにメッセージを書き記した『桂ハートプロジェクト』にも多くのメッセージが寄せられました。



やまびこ支援学校「やまびこまつり」

絆～友達は、宝

やまびこ支援学校(内田大介校長)では、10月11日(土)に第36回「やまびこまつり」を開催しました。当日は、「絆～友達は、宝」をテーマに舞台発表や作品の展示会、作業班販売会などに保護者など多くの方々が来校し、楽しいひとときを過ごしました。



午前中の「歌と劇の会」では、小学部「ぐりとぐらのはる・なつ・あき・ふゆ」、中学部「アナと雪の女王」、高等部「やまびこサイドストーリー」をそれぞれ熱演。練習の成果が発揮でき、どの発表も素晴らしく、会場の体育館は大きな歓声と拍手に包まれました。

展示会では、「陶芸」「絵画」「針金アート」「エプロン」等、日頃の授業で作成した力作を披露。また、販売会でも「木工用品」や「農作物」を販売し、多くの購入者で賑わいました。

おわりの会では、風船にそれぞれの願いや思いが書かれた短冊をつけ、天高く飛ばしました。生徒たちは互いの友情を確かめ、それぞれの「絆」を深めていました。

笹子地区山村地域活性化事業

～森林の大切さ、林業の現状を学ぶ～



大月市笹子地区では、笹子町政運営委員会を中心に小中学生を対象とした「森林保全体験学習」を実施しました。

10月25日(土)には大月スポーツ少年団児童ら約50名が「矢立のスギ」周辺で「笹子森林保全体験教室」に参加。荒

廃林や堰堤についての説明を受けたり、木工体験を行いました。

また、10月29日(水)には、初狩小学校児童ら約80名が「悲しみの森・癒やしの森トレッキングツアー」に参加。手入れがされていない不健康な「悲しみの森」と間伐などがされた「癒やしの森」を比べ、森の荒廃をじかに知り、森の大切さや間伐等の森林整備の仕方を学びました。また、学年ごとに野草の観察会や川の勉強会、間伐・枝打ち・植栽などの森林保全活動の見学や体験を行いました。



第4回 大ツキ軽トラ市



10月18日(土)、大月市では市制施行60周年記念事業として、第4回大ツキ軽トラ市が開催されました。会場の国道20号は、大月駅前から市役所前まで歩行者天国として解放。

軽トラックなどの模擬店が多数並び、多くの来場者と出店者の活気に満ちた賑わいのある市(いち)となりました。

また、健康相談やハッピーハロウインの催しのほか、大月東中学校と都留高校の吹奏楽部による演奏会が行われました。この演奏会の会場は野外のイベント広場。多くの観客は、秋風に乗って流れる爽やかなメロディーに、普段の会場とは違う青空演奏会を楽しんでいました。



南都留地区児童生徒連絡協議会の取り組み

第42回「市長さんと話す会」～富士吉田市児生連～

11月5日(水)、「私たちの考える みんながつながる街づくり」をテーマに「市長さんと話す会」が富士吉田市産業会館で行われました。当日は、富士吉田市長・副市長・教育長をはじめ、各小中高等学校の児童会生徒会代表者など、約90名が出席。討論会では、2つの柱「みんながつながる学校づくりを目指して」「みんながつながる街づくりを目指して」について、活発な意見交換がされました。参加した児童・生徒たちは、この話し合いを通して、自分たちが住む富士吉田市に対してさらに深く考え、理想や夢を抱くことができたようです。



「町長さんと語る会」～富士河口湖町児生連～

町長さんをはじめ行政の方々との話し合いにより、「リーダーとしての資質を高め、よりよい学校づくり、街づくりを目指す姿勢を培う」ことを目的に11月6日(木)、「町長さんと語る会」が富士河口湖町役場コンベンションホールで行われました。当日は、富士河口湖町長・副町長・教育長をはじめ、各小中高等学校の児童会生徒会代表者など、約65名が出席。「アイスブレイク」で緊張をほぐしたあと、今年の「我が校の自慢」と取り組みについて発表したり、リーダーとして大切なことは何かについて活発な意見交換が行われました。



「都留リーダーサミット」～都留市児生連～

11月14日(金)、「私たちができること～やさしさと元気のまち都留市へ～」をテーマに「都留リーダーサミット」が都留市役所大会議室で行われました。当日は、都留市長・教育委員長をはじめ、各小中高等学校の児童会生徒会代表者など、約80名が出席。「イデスネ!!」を合い言葉に、3つのグループに分かれてテーマについて「熟議」が行われました。中学生が各グループのリーダーとなり、「やさしさと元気のまち都留市にするために私たちができること」について各グループごとに討論。市役所の防災担当の方々のアドバイスを受けながら自分たちがしなければいけないこと、できることについて真剣に話し合っていました。



山梨ことぶき勸学院レポート

～勸学院祭・若者との交流～

10月16日(木)、コラニー文化ホールにおいて「次世代へいかせ知恵の輪 勸学院」のテーマのもと「第28回山梨ことぶき勸学院祭」が開催されました。勸学院祭は、「山梨ことぶき勸学院生の日常の研鑽や成果の発表、及び若い世代との交流や芸術文化に触れることを通し、心豊かな学院生活の向上に資すること」をねらいとしています。

当日は、各地域の教室による合唱・ダンス・舞踊・楽器演奏等の舞台発表や勸学院卒業生による研究発表が行なわれました。各教室とも趣向を凝らし、場内を笑いに包み込んだり、感嘆させたりと、それぞれの特性を生かすとともに日常の取り組みやその成果が十分に発揮されていました。

また、異世代交流として参加した県立甲府第一高等学校の「ア・カペラ部」「吹奏楽部」の発表は圧巻の迫力で参加者から喝采を浴びていました。



【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHPからご覧いただけます。】

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841